



2009年3月期第1四半期 決算概要とトピックス

代表取締役社長
高橋 晃

四半期純利益 7%増

成長基調を堅持(薬価公定価改定、為替の影響を吸収) (億円)

	08/3期 Q1	09/3期 Q1	増減率
売上高	755	778	3%
粗利益(率)	415 (55.0%)	422 (54.3%)	2%
販管費(率)	245 (32.5%)	260 (33.4%)	6%
営業利益(率)	170 (22.5%)	162 (20.9%)	-4%
経常利益(率)	186 (24.6%)	189 (24.2%)	1%
四半期純利益	131	140	7%

期中平均レート

US\$ 121円
EUR 163円

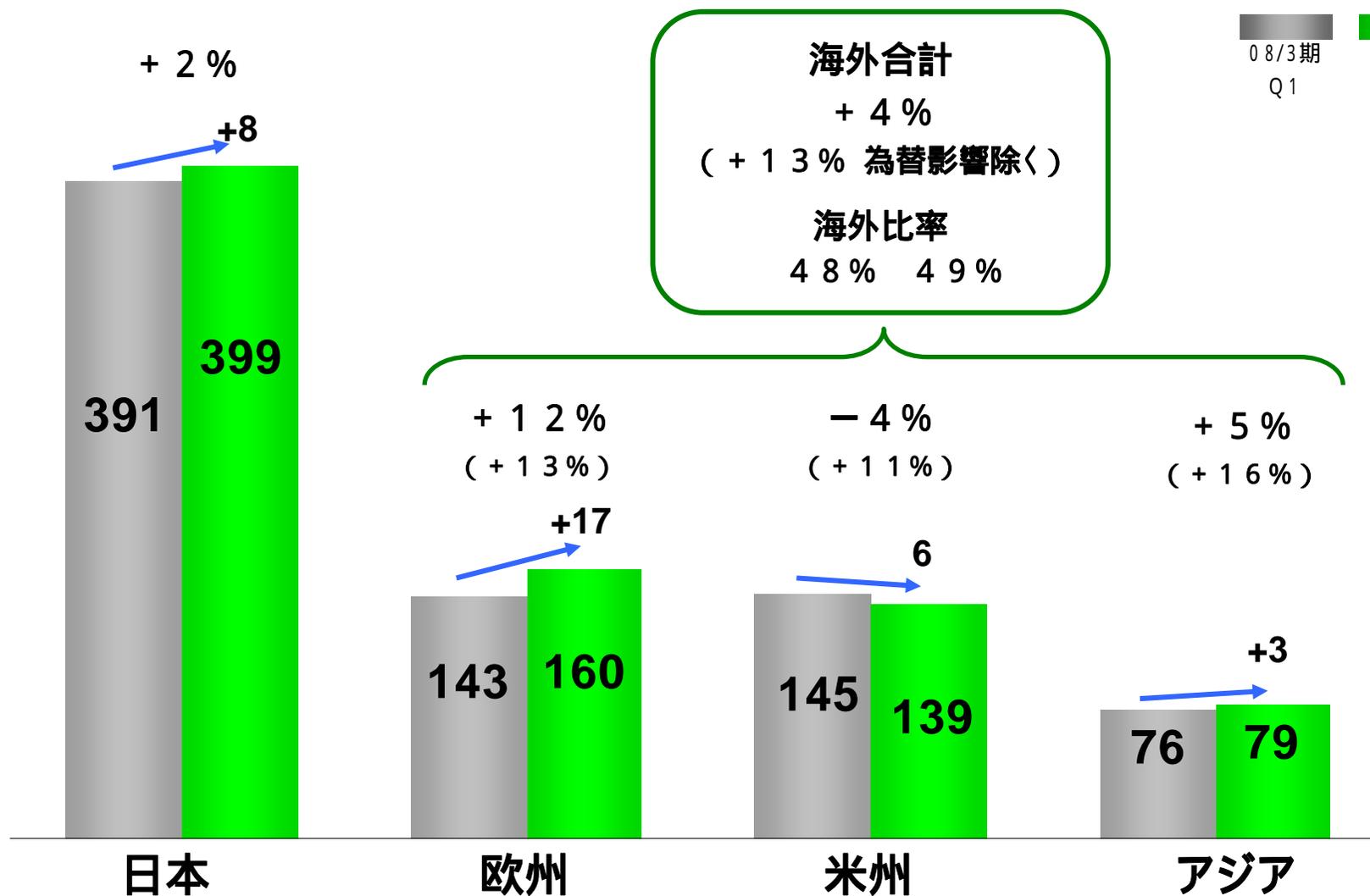
105円
163円

13.5%円高
0.4%円安

売上高 (地域別)

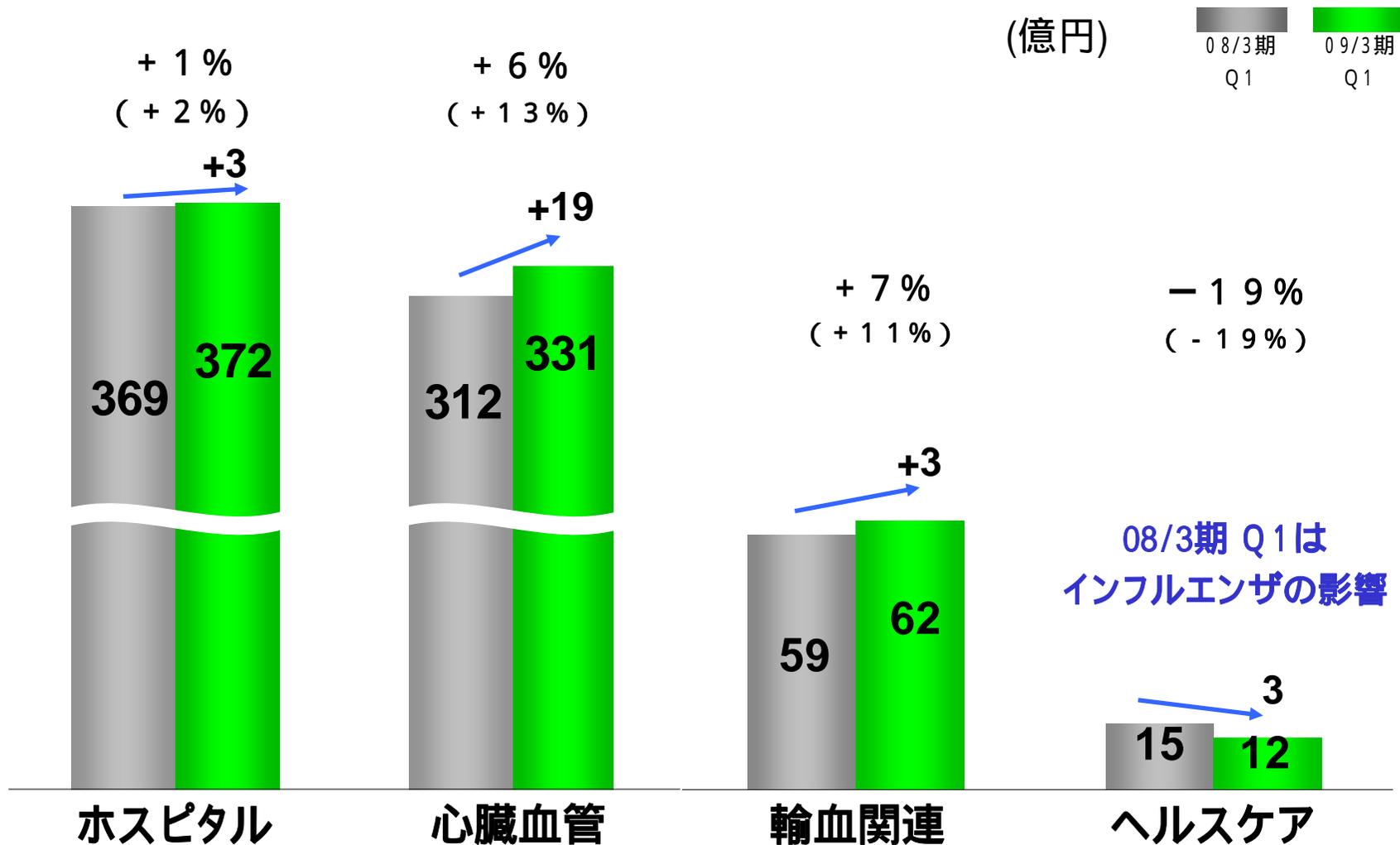
為替の影響を除くと海外は2桁成長を継続

(億円)



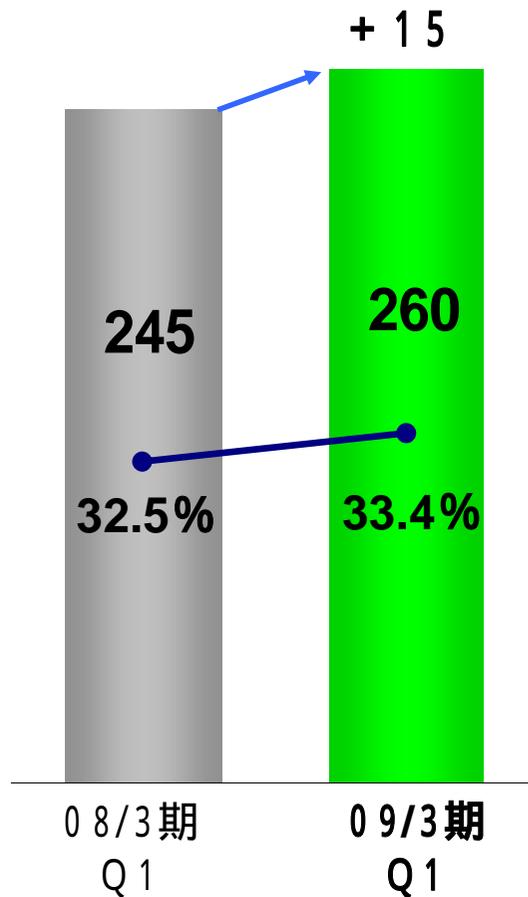
売上高 (商品群別)

輸血関連も順調、ヘルスケアは昨年の特需が影響



販管費

(億円)



販管費比率
0.9ポイント
上昇

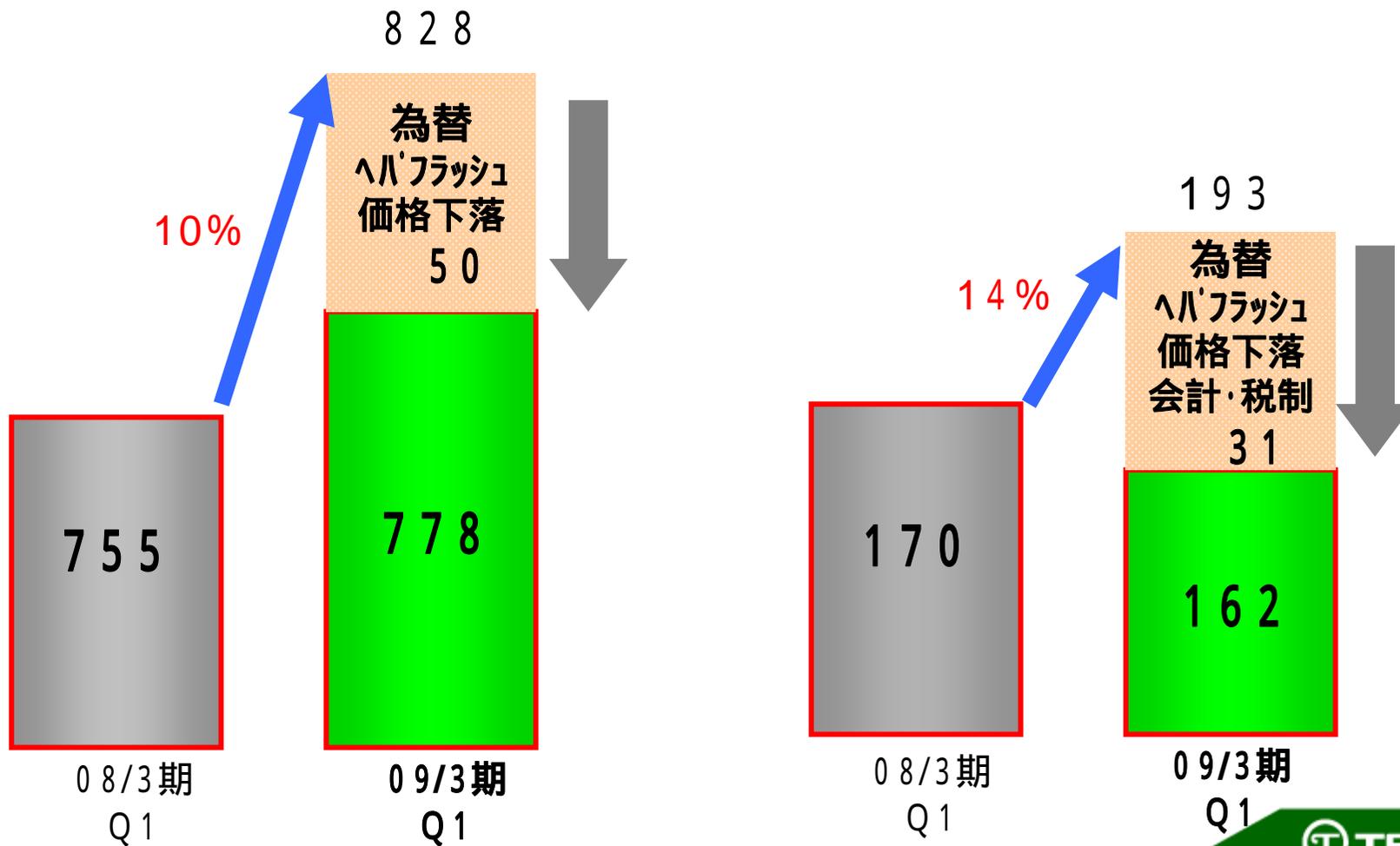
	08/3期 Q1	09/3期 Q1	増減	対前年 比
人件費	93	96	+3	4.1%
物流費	21	23	+2	7.5%
販促費	23	25	+2	7.1%
研究開発	38	38	-	-1.9%
その他	70	78	+8	12.3%
計	245	260	+15	6.1%

外部要因の影響

【売上高】

【営業利益】

(億円)



年間見通し達成へ向けて順調にスタート

(億円)

	09/3期 Q1実績	09/3期 年間見通し
売上高	778	3,180
営業利益(率)	162 (20.9%)	680 (21.4%)
経常利益(率)	189 (24.2%)	680 (21.4%)
当期純利益	140	450

期中平均レート

US \$ 105 円
EUR 163 円

100 円
155 円



トピックス



原材料・物流費・新規制でコストUP

プラスチック原料、輸液剤原薬が高騰

PP、PE、アミノ酸、包材など

物流コストの上昇

海上運賃(輸出分)

国内保管費

新規制 (改正薬事法：医療機器も医薬品並みの規制に)

仕様変更、材料変更、包材表示変更

厳しい環境を経営体質強化の好機に

徹底したコスト低減

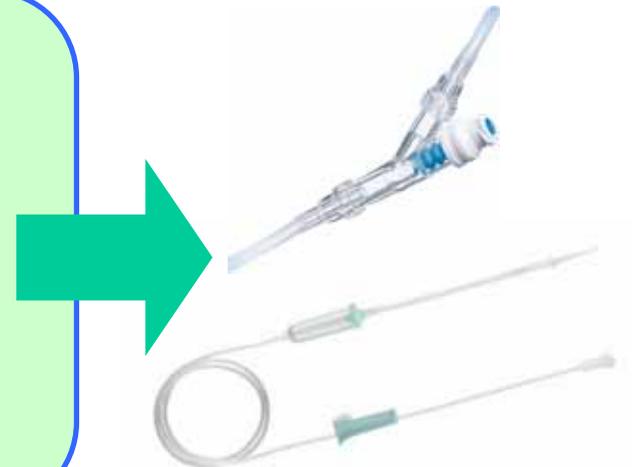
新規制対応を機に高付加価値品へシフト

輸液セット：国際基準に統一



- ・15滴 = 1cc (Terumo・N社)
- ・19滴 = 1cc (J社)

↳ 20滴へ どのメーカーも
主力仕様ではない



<感染防止プラグ付輸液セット>

通常品は値上げを検討

改良・改善の新商品で公定価下落をカバー

PTCAバルーンカテーテル

Hiryu (07/10発売)



19%
(07年9月)



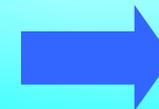
28%
(08年6月)

超音波診断カテーテル

ViewIT (08/4発売)



12%
(08年3月)



20%へ
(09年3月見込み)

PTCAバルーンカテーテル、超音波診断カテーテル国内シェア推移 (テルモ調べ)

カテーテル事業の成長力を強化

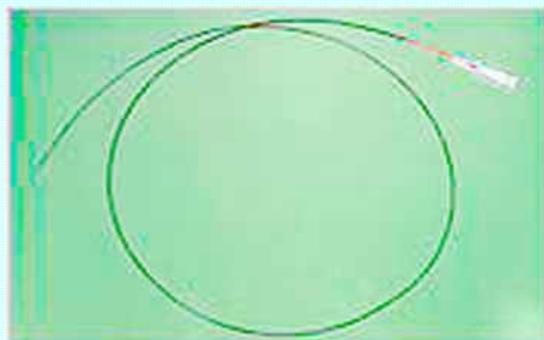
クリニカル・サプライ社の全株式を取得

国内の放射線科領域を強化

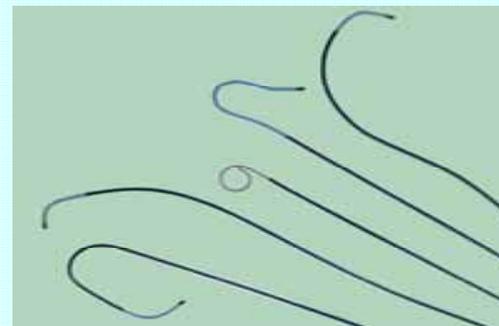
クリニカル・サプライ商品をグローバルに展開

両者の強みを活かした新商品開発

 株式会社 クリニカル・サプライ



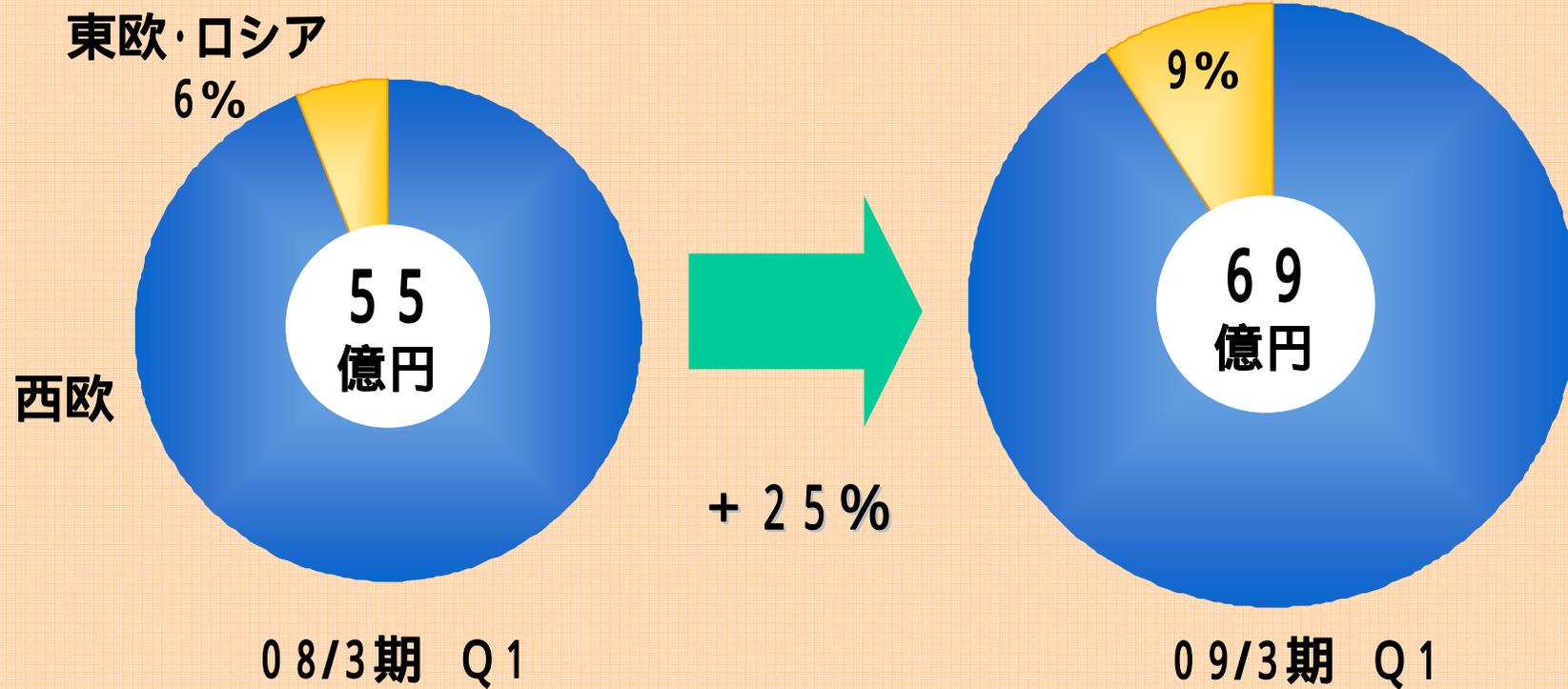
マイクロカテーテル
(肝がんなどの治療用)



血管造影用カテーテル

欧州はカテーテル商品を中心に大きく売上が拡大

欧州 カテーテル商品群 売上高



欧州の商品ラインアップがさらに充実

末梢血管用ステント「Misago」

08年1月発売

心臓以外へステントの領域を拡大



大腿動脈などの閉塞を治療

自動遠心分離装置「TACSI」

08年10月より本格販売を開始

輸血関連商品を高付加価値化



輸血関連商品の売上が順調に拡大

国内の成分採血装置「テルシス」が好調

無菌チューブ接合装置(TSCD)の売上が拡大

アジアの血液バッグ需要増、インド・中東で高伸長



< 国際輸血学会 (ISBT) 総会での展示ブース: 6月マカオ >

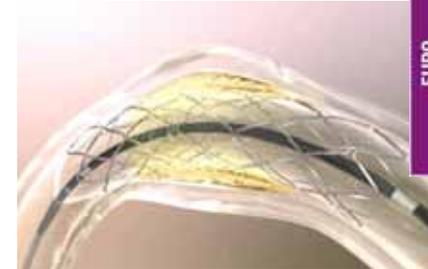
グローバル開発は着々と進行

「Nobori」

欧州：3000症例の市販後臨床試験がスタート

5月の学会(Euro PCR)でアナウンス

日本：臨床試験を継続中



EURO PCR08

ドラッグエリューティングステント
Nobori

「DuraHeart」

米国：ミシガン大が埋め込みに向けて準備中

日本：今年度中に臨床試験を開始予定



DuraHeartを使用して3年
を超えた患者さん(右)

「Anaconda」

米国：臨床試験のフェーズ 移行をFDAが承認



中期計画、想定通りのスタート

環境激変の中、独自の戦略で着実に成長

欧州・新興国を中心に海外の高成長が継続

今期の業績見通しを完遂



〈おことわり〉

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が、記載されている予想・見通しとは異なる場合がありうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などがあります。